

議会だより こさか



小中学校合同大運動会・小中一緒の綱引き！（5月11日 陸上競技場）



桜満開の明治百年通り観光トロッコ

- | | |
|---------------------|------|
| 1. 3月定例議会の概要 | 2～6 |
| (議案一覧・賛否一覧・新年度予算審議) | |
| 2. 一般質問 | 7～11 |
| こんなことを聞きました（4議員） | |
| 3. みんなの広場 | 12 |
| 議員と語る会開催のご案内 | 12 |

昨年から表紙をカラーにして、今号からは表紙の題字を見やすく変えてみました。

3月
定例議会

平成31年度一般会計予算 40億8,300万円

川上公民館改築工事に1億6,769万円

小坂町一般会計及び特別会計

(単位：千円)

区 分		予 算 額		比 較	
		平成31年度	平成30年度	金 額	(%)
一 般 会 計		4,083,000	3,869,000	214,000	5.5
特 別 会 計 (合 計)		1,887,182	1,849,408	37,774	2.0
特 別 会 計	国民健康保険特別会計	621,086	611,300	9,786	1.6
	後期高齢者医療特別会計	75,109	76,273	△ 1,164	△ 1.5
	介護保険特別会計	800,703	770,814	29,889	3.9
	保険事業勘定	795,787	765,813	29,974	3.9
	介護サービス事業勘定	4,916	5,001	△ 85	△ 1.7
	歯科診療所特別会計	62,809	63,185	△ 376	△ 0.6
	中小企業従業員退職金等 共済事業特別会計	10,265	6,084	4,181	68.7
	菅原ヤエ奨学資金 特別会計	3,003	3,003	0	0.0
	文化基金特別会計	0	1,233	△ 1,233	皆減
	下水道事業特別会計	312,431	315,762	△ 3,331	△ 1.1
	小坂財産区特別会計	1,776	1,754	22	1.3
企 業 会 計	(収益的収入)	256,367	258,087	△ 1,720	△ 0.7
	(収益的支出)	255,288	244,775	10,513	4.3
	(資本的収入)	49,909	50,659	△ 750	△ 1.5
	(資本的支出)	178,319	187,325	△ 9,006	△ 4.8

- ・自治会活動費助成 201万円
(昨年度比94万円増)
- ・高齢者地域支え合い支援事業 130万円
(自治会で実施する敬老会や高齢者活動
に対する補助)
- ・十和田湖道の駅整備関連事業 1,131万円
- ・七滝活性化拠点センター管理・
企業誘致支援事業 969万円 ほか

平成31年第1回小坂町議会
定例会は、3月6日から15日
までの10日間の会期で開催さ
れました。
新年度予算については予算
特別委員会を設置し、2日間
にわたって、一般会計・特別
会計の予算を審議しました。
内容は、予算関係議案11件
のほか、関係条例議案15件、
平成30年度補正予算関係議案
7件、その他の議案1件を原

一般会計予算に
4人が反対

案のとおり可決しました。
なお、七滝保育所の閉所に
伴う、小坂町保育所条例を廃
止する条例制定には、3人が
反対しました。
(3面以降に議案一覧)
平成31年度一般会計予算の
総額は40億8300万円で、
前年度に比べて2億1400
万円の増となっています。
予算審議では、行財政改革
を推進しながらも、町民の生
活に直結した要望には積極的
に取り組むように要請しまし
た。

採決の際に賛否が分かれた案件の結果 (3月定例議会)

○：賛成 ●：反対 欠：欠席 退：退席 (議長は採決に加わりません。)

議 席 番 号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	採決結果
議 員 名	鹿兒島 巖	船水 隆一	本田 佳子	亀田 利美	栗山 忠三	宮 信	小笠原正見	成田 直人	椿谷 竹治	小笠原憲昭	熊谷 聡	目時 重雄	
案件名													
平成31年度小坂町一般会計予算	○	●	○	●	●	○	○	●	○	○	○	○	可決
小坂町保育所条例を廃止する条例制定について	●	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	可決
消費税の増税中止を求める陳情	○	●	●	●	○	○	●	●	○	●	●	○	不採択
奥山等のスギ・ヒノキ放置人工林を、森林環境譲与税(仮称)で順次計画的に皆伐を進め、天然林に戻すことを求める陳情書	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択
辺野古新基地建設が、沖縄県民にのみ過重な負担を強いその尊厳を踏みにじるものであることに鑑み、政府に対し、沖縄県民の民意を尊重することを求める決議の提出について	○	●	●	●	○	○	○	●	○	●	●	○	否決

町民ファーストの予算執行を

総務費

一般空き家解体の促進を

問 危険空き家の解体は一般空き家より補助金の率が高いので、危険空き家になるまで待つ人が出てこないか。空き家の解体を進めるなら、一般空き家の補助率も高くするべきではないか。

答 危険空き家の補助金は、近隣住民に被害を及ぼす危険があるため補助率を高くしています。一般空き家は、再利用の方策も考えられるので補助率に差をつけています。



空き家解体作業

意見 空き家が出た場合、再利用の意思について情報を収集して対応されたい。

問 地域おこし協力隊の募集内容は。

答 ぶどう栽培と、移住定住対策に取り組むスタッフを募集しており、東京等でのイベントで宣伝していきたい。

問 町村電算共同システムを導入して、町の経費は削減できたのか。

答 平成25年度から開始して30年度までで、各町村4900万円の削減になっています。

問 自治会運営費助成金の増額内容は。

答 基本額を1万4600円から2万5000円に増額して、世帯割りは一世帯360円×12か月で考えています。

問 基金を取り崩しての予算編成になっているが、次年度の予算は大丈夫なのか。

答 予算は余裕を見て編成しており、基金は財政規模から見た標準額の5億円以上は残せると思います。

民生費

すこやか育児手当の見直しを

問 すこやか育児手当は、子どもが減少しているので第三子への手当ではなく、第一子から手厚く補助する方向に変えてはどうか。

答 状況に応じて検討していきます。

問 生活支援が必要な子どもが多くなってきたが、子どもの貧困対策予算の内容は。

答 社会福祉協議会に子どもの未来応援サポーター一名を配置して、情報収集や相談しやすい体制を図る事業です。

問 街灯整備の要望は何件で、新規整備の予算は何件か。

答 要望は10件あるが、要望内容を精査して、新規整備予算は1件分です。

意見 レールパークには多くの予算が計上されているが、町民要望には予算が付かない。町長が言っている町民ファーストにはなっていない。

条例等の改正							平成31年度予算											区分			
小坂町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について	総務福祉常任委員会付託	小坂町介護保険条例の一部を改正する条例制定について	職員 の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例制定について	総務福祉常任委員会付託	小坂町個人情報保護条例の一部を改正する条例制定について	総務福祉常任委員会付託	小坂町特別会計条例の一部を改正する条例制定について	産業教育常任委員会付託	小坂町文化基金条例を廃止する条例制定について	下水道事業特別会計への繰入れについて	水道事業会計予算	小坂財産区特別会計予算	下水道事業特別会計予算	菅原ヤエ奨学資金特別会計予算	中小企業従業員退職金等共済事業特別会計予算	歯科診療所特別会計予算	介護保険特別会計予算	後期高齢者医療特別会計予算	国民健康保険特別会計予算	一般会計予算	審議された議案一覧（※議長は採決に加わりません。）
	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	7	賛成
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	反対
	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	結果

衛生費

問 陸上競技場にあるトイレ・チャイムクリーンの施設改修内容は。

答 様式トイレの改修と、外付け用の時計の設置です。チャイムが鳴らなくなるので、名称変更は内部で検討します。

農林水産業費

ブドウ栽培の地元後継者育成を

問 ワイナリーの経費が1千万円程度予算計上されているが、今後も経費はかかるのか。

答 技術者養成と販売促進に関する経費であり、地方創生事業の交付金活用期間内で事業の交付金を活用したい。

問 ワイナリーの技術者は何年で養成できるのか。

答 アドバイザーから指導を受けて、最低3年程度はかかります。

問 県外から地域おこし協力隊を募集するよりは、地元の若手を育てる方が効果的ではないか。

答 生産体制と増産を図るために、町内外30名程が参加し



昨年のジャガイモ栽培実証試験

てブドウ塾を開催しています。問 圃場が足りないのが現状なので、利用していない圃場を町が整備して安く貸し出すことはできないか。

答 圃場拡大は必要ですが、現在の生産者が高齢化しているため、バトンタッチできる後継者の育成が先決です。

問 カルビーポテト(株)に出荷するためのジャガイモ栽培実証試験は、昨年は品質が合わずに出荷できなかったが、昨年の反省を基にしての計画になっているのか。

答 協議会で昨年の課題を検討して、鶴地区に圃場を変更して実施し、品種は1種類、面積は50アールを予定しています。将来的には、畑地を活用して、担い手農家による複合経営を図っていきたい。

商工費

七滝活性化拠点センターの宣伝強化を

問 七滝活性化拠点センターの、貸し事務所としての申込み状況は。

答 1階は花輪ふくし会が利用する予定で、2階はまだ企業等の申込みはありません。

意見 町内でも利用の希望があるかも知れないので、広報等で周知してほしい。

問 七滝活性化拠点センターの交流スペースを、地元の人

答 管理人がいるので、自由に利用できるし、団体等が利用する場合は事前に予約してほしい。詳細はオープンに合わせて広報等で周知します。

問 ふるさとセンターの春からの営業予定は。

条例等の改正										区分
審議された議案一覧(※議長は採決に加わりません。)										
総務福祉常任委員会付託										
小坂町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について										賛成 反対 結果
産業教育常任委員会付託										11 0 可決
小坂町営住宅管理条例の一部を改正する条例制定について										11 0 可決
産業教育常任委員会付託										11 0 可決
小坂町交流センター使用料徴収条例の一部を改正する条例制定について										11 0 可決
産業教育常任委員会付託										11 0 可決
小坂町営運動場使用料徴収条例の一部を改正する条例制定について										11 0 可決
産業教育常任委員会付託										11 0 可決
小坂町屋内温水プール使用料徴収条例の一部を改正する条例制定について										11 0 可決
産業教育常任委員会付託										11 0 可決
小坂町保育所条例を廃止する条例制定について										8 3 可決
産業教育常任委員会付託										8 3 可決
産業教育常任委員会付託										8 3 可決
町道の認定について										11 0 可決
平成30年度補正予算										11 0 可決
区分										賛成 反対 結果
審議された議案一覧(※議長は採決に加わりません。)										
一般会計補正予算(第5号)										11 0 可決
歯科診療所特別会計補正予算(第3号)										11 0 可決
菅原ヤエ奨学資金特別会計補正予算(第1号)										11 0 可決
文化基金特別会計補正予算(1号)										11 0 可決
下水道事業特別会計補正予算(第2号)										11 0 可決

答 指定管理している小坂まちづくり(株)の従業員が離職することになり、現在新しい従業員を募集しています。

問 レールパークの枕木交換予算について、修繕すれば安心・安全で運行できるのか。

答 枕木200本の修繕は危険箇所を解消する最低限の修繕であり、今後5年計画で1000本の枕木を修繕したい。

問 町の予算だけでなく、全国の鉄道ファンの協力で枕木の修繕を考えてはどうか。

答 鉄道ファンからレールパークを応援していただける仕組みを考えていきます。

意見 レールパークは何年経しても経営は良くならない。枕木は正確に確認して、財政に負担をかけないように。

土木費

牛馬長根町道の早期拡幅改良を

問 今年で牛馬長根町道の拡幅工事は完了するのか。

答 改良工事を実施する計画ですが、国の交付金次第で全部改良できるかは不透明な状況です。

問 狭い箇所では交通に支障があるので、町単独事業で実施できないものか。

答 現段階では難しい。

問 台湾の観光客が康楽館に来たときに、除雪車の運行を見せればよかったのだが、目的外使用ではないか。

答 除雪を業務委託している小坂まちづくり(株)から、試験的に行いたいとの申し出があり許可をした。今後定期的に行う場合は、業務委託内容の変更等を検討します。

消防費

問 土のうの備蓄は大丈夫なのか。

答 土のうは耐久性がなく長く置けないが、袋は訓練の時に追加備蓄しています。

問 出初め式での消防団員の減少対策は。

答 町民への消防車両披露のために乗車している団員もあり、少なく見えるかも知れない。消防団組織の見直しも含めて検討します。

教育費

郷土館の改修計画は

答 屋外展示場や空調設備の老朽化の問題等があるので、移転や現在の場所での改修も含めて検討しています。



昭和57年開館の郷土館

問 セパームは災害時の避難場所になるが、アリーナ二階の窓ガラスの強度は大丈夫なのか。

答 耐震基準には問題ないが、強度を図るために腰の高さ部分までフィルムを貼ります。

問 町内の伝統文化芸能の振興策については。

答 団体と相談して、発表の場を作っていきます。

問 野球場を開放できないか。

答 ルールを決めて外野の開放を考えています。

問 七夕祭補助金の見直しは。

答 決算では不足している団体は見られないので、製作団体の意見を聞きたい。

報 告		陳 情					区分
類似町村の議会運営に関する事務の調査	類似町村の産業振興に関する事務の調査	類似町村の地域福祉に関する事務の調査	産業教育常任委員会付託	最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める陳情	産 業 教 育 常 任 委 員 会 付 託	見 書 を 提 出 す る 事 を 求 め る 陳 情 書	全国知事会の「米軍基地負担に関する提言」の主旨に基づいて、地方自治の根幹を驚かす日米地位協定の見直しを国に求める意見書を提出する事を求める陳情書
			消費税の増税中止を求める陳情	産 業 教 育 常 任 委 員 会 付 託	産 業 教 育 常 任 委 員 会 付 託	産 業 教 育 常 任 委 員 会 付 託	産 業 教 育 常 任 委 員 会 付 託
			産 業 教 育 常 任 委 員 会 付 託	産 業 教 育 常 任 委 員 会 付 託	産 業 教 育 常 任 委 員 会 付 託	産 業 教 育 常 任 委 員 会 付 託	産 業 教 育 常 任 委 員 会 付 託
			産 業 教 育 常 任 委 員 会 付 託	産 業 教 育 常 任 委 員 会 付 託	産 業 教 育 常 任 委 員 会 付 託	産 業 教 育 常 任 委 員 会 付 託	産 業 教 育 常 任 委 員 会 付 託
10	11	4	11	11	賛成		
1	0	7	0	0	反対		
採択	採択	不採択	採択	採択	結果		

そ の 他		区 分						
水道事業会計補正予算（第2号）	小坂財産区特別会計補正予算（第2号）	審議された議案一覧（※議長は採決に加わりません。）	産 業 教 育 常 任 委 員 会 付 託	最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める陳情	産 業 教 育 常 任 委 員 会 付 託	見 書 を 提 出 す る 事 を 求 め る 陳 情 書	全国知事会の「米軍基地負担に関する提言」の主旨に基づいて、地方自治の根幹を驚かす日米地位協定の見直しを国に求める意見書を提出する事を求める陳情書	
全国知事会の「米軍基地負担に関する提言」の主旨に基づいて、地方自治の根幹を驚かす日米地位協定の見直しを国に求める意見書	最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書	幼児教育・保育の無償化、待機児童解消、保育士の処遇改善のための必要な措置を国に求める意見書	辺野古新基地建設が、沖縄県民にのみ過重な負担を強い、その尊厳を踏みにじるものであることに鑑み、政府に対し、沖縄県民の民意を尊重することを求める決議	5	11	11	11	賛成
6	0	0	0	0	0	0	0	反対
否決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	結果

歳入

収入確保にふるさと納税を

問 長年の固定資産税滞納整理の成果は。

答 滞納整理は固定資産税を中心に進んでおり、滞納者とは常に接点を持って指導しています。

意見 不納欠損する前に徴収する努力をお願いしたい。

問 グリーンフィル(株)からの環境保全協力金が前年比60万円減なのは、一般廃棄物の搬入量が減る見込みなのか。

答 搬入量は3月末にグリーンフィルとの協議になるので、前年度実績で予算編成をしました。

問 今年のふるさと納税の状況と、収入確保のために返礼品の魅力アップを図るなどの対策は。特産品に限らず色々なアイデアを出す組織を立ち上げて検討すべき。

答 現時点で930万円ほどの申し込みです。返礼品の内容変更は行っていますが、更に工夫が必要なので特産品業者と連携して検討します。

一般会計総括

歳出増加で財政の見通しは

問 31年度の予算編成は、昨年10月の予算編成方針とは大きく違い、歳出が増加しているのではないかと。

答 予算は40億円以内とする考えでしたが、国の補正予算等での商品券発行や道路整備等の住民要望に因應するため、当初予算に計上しました。

問 地方交付税の見込みは。

答 全国平均では増加しますが、市町村の実状により増減もあるので、前年と同額としました。

問 昨年度から起債(町の借金)が増えているが。

答 川上公民館の改築で見込みより増えました。今後も公共施設の改修等はあるが、許容範囲内で対応したい。



ふるさと納税返礼品の桃豚セット

問 町民ニーズに合った予算編成とのことだが、レールパークの枕木交換に600万円も投資する必要があるのか。

答 破損箇所の枕木交換は体験運転のためであり、体験運転ができなければ収入減となるので必要である。今後も町の負担が増えない方法を考えてい。



交換が必要な枕木

反対意見 レールパークの枕木交換は、大変お粗末な予算編成である。詳細な計画を示すべきである。

経済効果もなく税金の無駄使いなので事業をやめてほしい。それよりも、地域から要望がある施策に込めていくことが先決である。そのため、今回の当初予算は反対である。

賛成意見 予算は十分精査されていない部分もあるが、予算執行では不用品が出ない行政運営や、議会の提言を途中で補正するなどの対応をお願いし、賛成討論としたい。

レールパーク事業は、努力

平成31年度 当初予算審議

予算特別委員会報告書 特記事項(平成31年3月定例会)

1. 財政の健全化は喫緊の課題であることから、行財政改革を積極的に推進しながらも、町民の生活に直結した要望に積極的に取り組むこと。
2. にぎわい創出事業の小坂鉄道レールパークについては、施設整備や経営の長期的な計画を策定し、計画内容によっては運営方法の見直しをすること。
3. 担い手農家の育成を図りながら、六次産業化を進めると共に、土地改良区が取り組んでいる基盤整備については、地域からの合意が得られるように積極的に取り組むこと。
4. 少子化の現状から、誰もが安心して子育てができる環境整備を図るうえでも、第一子誕生からの支援を手厚くする政策について検討すること。
5. 指定管理者制度の趣旨を認識すると共に、指定管理者が管理する施設の運営状況を十分に精査して、指定管理料の積算については明確なものとすること。

国民健康保険特別会計

子どもの均等割軽減を

問 国保税の徴収率が93%と

は必要だが、一つのマイナスを強調して全体を否定することにはならない。レールパークに期待する町民の声もある。人口減少の中で、町の特色である近代化産業遺産を活用した事業が、夢のある元気なまちづくりだと思ふ。問題点は、事業を行いつつ解決に取り組んでいただきたい。

悪いのは、税金が高いのが要因ではないか。均等割額で子ども1人2万1000円だが、子育て支援からも、子どもの均等割を軽減できないか。

答 国保世帯の子どもは10数人程度で、均等割を軽減すれば、その分加入者全体で負担することになる。平等かどうかを含めて検討したい。

問 加入者に負担をかけるのではなく、町の財政負担で予算措置している町村もある。

答 町とすれば国の制度の中で行うことが理想と思うが、来年度に向けて研究したい。

3月定例議会 一般質問 町政を問う

4人の議員が10項目について質す



1 10番 小笠原 憲 昭 議員

1. マイナンバーカードについて
2. 住民、地域要望への対応について
3. 町道整備について
4. 児童、生徒の健全育成について



2 11番 熊 谷 聴 議員

1. 生活弱者に対する町の対応と交通手段について



3 3番 本 田 佳 子 議員

1. マイナンバーカードについて
2. 中高年の健康増進の取り組みについて

4 1番 鹿兒島 巖 議員

1. 介護保険について
2. 臨時職員等の処遇について
3. 市町村連携「圏域」構想について



一般質問とは？ 議会を傍聴しませんか

一般質問は、年4回の議会定例会において行われます。議題とは関係なく、行財政全般にわたる議員主導による政策論議であるため、通告制が採用されています。通告（質問の届け出）は、議員個人の判断によります。

議会の傍聴手続きは簡単です。傍聴席の入口で、名前と連絡先を書くだけです。
団体で来られる場合は、事前にご連絡ください。

スポーツ施設の開放を

町長 中学生以下の使用料無料の条例改正案を提出



小笠原憲昭 議員

一般質問 町政を問う

問 マイナナンバーカードの発行状況は。また、カードはどのように活用されるのか。

答 マイナンバーは、日本に住所を有する全ての方に割り振られた12桁の番号で、平成27年10月から一斉に個人に通知されました。行政事務の効率化や、社会保障・税に関する行政の手続きが簡略化でき、各種行政手続きをオンライン化できるようにするものです。カードは、顔写真とI

Cチップが付いたプラスチックカードです。本人確認のための身分証明書として利用できるほか、自治体サービスや電子証明を利用した電子申請など、様々なサービスへの活用が期待されます。

電子申請は、母子保健、児童手当、保育・児童扶養手当の4分野15種類において利用可能です。

1月末の小坂町の交付数は510人、率にして9.74%で県内で6番目です。

住民・地域要望への対応について

問 町に対して住民や地域からはどのような要望があり、住民目線で対応しているか。

答 様々な意見・要望をいただく機会として、春、秋に各自治会から要望書の提出や町民と直接面会する町長面会日、各地区自治会連絡協議会と町長との懇談会、役場本庁、

セパーム、川上公民館、七滝支所、十和田出張所に設置している投書箱等があります。自治会要望には担当課が現地を確認して判断し、「早急に対応」「県や所有者に連絡」「自治会での協力をお願い」「緊急性が低いので先送り」「次年度で実施する予定」などの回答を、各自治会長に通知しています。

町道整備の現状は

問 町道整備について、現状をどう考えているか。また、整備計画を公表できないか。

答 平成28年4月現在の町道の整備状況は、改良率が42.4%、舗装率は58.2%となっています。小坂町の場合、



改良が待たれる牛馬長根町道

一部の山間道路を除いて、1級及び2級の幹線町道はおおむね改良済みです。しかし、町中心部における都市計画区域内の街路計画では、計画延長11kmに対して5kmの完成に止まっており、計画路線の半分が未改良の状態です。

平成32年度に予定している都市計画区域における「立地適正化計画」策定に合わせて、都市計画街路計画の見直しを予定しています。今後整備の見通しがない路線については計画を廃止し、その代替えとして当該路線の狭あい区間に部分的に待避所を設けるなどの改良を加えて1.5車線化を進めるなど、現状に即した整備に努めます。その他の町道は大きな改良はせずに、穴埋め等の現状維持を基本として対応していきます。

「社会資本整備総合交付金」事業の直近5か年の計画は公表が義務づけられているので、当該事業箇所、位置図など公表しており、年度ごとに見直しをかけています。**問** 児童、生徒の健全育成を図るうえで、いじめや虐待防止への取り組みは。また、遊



子どもたちへの利用の拡大を

び場としてスポーツ施設を開放できないか。

答 教育委員会と小・中学校では「いじめ防止基本方針」を策定し、子どもたちが安心して学校生活を送り様々な活動に取り組むことができるように、毎月実施しているいじめ調査や生活記録ノートを活用して、いじめ等の早期発見に努めています。

子どもたちには、遊びを通じて人との関係性を学び、体験を広げてほしいと考えており、自由に利用できる場所を提供したいと考えています。セパームアリーナ、野球場、テニスコート、みんなの運動公園などの運動場や屋内温水プールは、中学生以下の使用料を無料にする条例改正案を提出しています。

町民要望に応じた生活バス路線の運行を

町長 民間バス路線と重複した運行は難しい



熊谷 聡 議員

一般質問 町政を問う

問 秋田県の人口は、県や市町村の人口減少政策でも、減少に歯止めがかからない状況です。県調査統計課による2月1日現在の小坂町の人口は、4915人（前月比19人減少）と新聞に掲載されていました。小坂町では高齢化率が43%を超え、交通弱者の割合が増加の傾向にあります。その中で、町民の移動手段は主に町営バスとタクシー、自家用車ですが、きめ細かな

町民サービスと町民要望に応えるために新しい路線を増設し、高齢者だけでなく低所得者などに対して一定額で乗れるバスの運行は可能か。

また、小坂町では交通死亡事故ゼロ2000日を達成していますが、昨今、高速道路などでの高齢者による逆走や停車時のブレーキ・アクセルの踏み間違いによる事故等がニュースなどで取り上げられる回数が増えています。小坂町も高齢化に伴い他人事では済まない状況ですが、高齢者による免許返納件数はどのように推移しているのか。

そして、今後免許返納された方の町内外への移動手段について、近隣市町村と連携して、どのように進めていくのか。

答 高齢化が進行している中、高齢者等の交通弱者にとって、公共交通等の移動手段は生活を支えるうえで大変重要です。



交通弱者の足には欠かせないバス路線

現在、町内を運行しているバス路線は「町営バス野口線」・「豊口タクシーが運行する上向七滝線」の2路線があるほか、近隣市へは民間事業者による路線バスが運行しています。

また、障害者手帳をお持ちの方には、タクシー利用券を交付し、安心して移動できるよう配慮しています。「町民要望に応じた路線増設」は、既存バス路線との重複運行は不可能であることや、民間事業者の経営を圧迫する恐れがあることから、現時点では考えていません。

問 国道以外の道路で、対象戸数約850戸、時速約30キロ、一周の所要時間は25分、一周約8、5キロの乗り合い路線を提案したいと思いますが、福祉車両等での走行は可能か。

答 民間バス路線と重複する箇所があることから、運行は難しい。

問 小坂町行財政の概要の中で、平成31年度は、第5次総合計画の後期基本計画4年目に当たり、重点プロジェクトである「定住促進」「地元産業間の連携による地域活性化」「安全、安心な暮らし、地域づくり」には引き続き取り組みます。また、総務費の中では、「通学や高齢化の進行に伴う交通弱者の買い物・通院などの、町民のニーズに合った公共交通の維持・確保に努める」と言っていますので、提案した路線の運行についてご検討いただきたい。

答 既存の路線で対応したいが、提案された路線についても、運行可能な方法について勉強します。

高齢者の運転免許の返納状況は

答 秋田県運転免許センターでは、市町村ごとの件数は把握していません。鹿角署管内では、平成29年145人、平成30年144人となっています。返納した際、町独自の支援は実施していませんが、今後前向きに検討します。



近隣市町村との連携した交通手段は

答 現在は考えていませんが、機会があれば近隣市と協議していきたい。

意見 人口の減少に伴い、地域の交通手段を守ることが簡単ではないが、路線編成時に地域住民の声を取り入れて利用者の増加を図ってほしい。

また、町長は住民の生活を守り、町民サービスの向上のために限られた財源を有効活用して、今後の課題として取り組みていただきたい。

マイナンバーカードの普及を

町長 可能なサービスから検討する



本田 佳子 議員

一般質問 町政を問う

問 マイナンバーカードが交付されることで、これから私たちの生活が、迅速かつ便利にサービスを受けることができるようになる。以前に質問したときは、申請する際の手続きが面倒で分かりづらいなどの理由で、交付が進んでいない状況であった。国は以前から、マイナンバーカードに健康保険証の機能も持たせる方向で検討しており、2021年3月には施行される予定となっていることから、ス

ーズに各種サービスを受けることができるように、早期の交付が必要となる。

町の交付状況はどうなっているのか。また、今後の交付をどのように推進していくのか。

答 1月現在の小坂町のマイナンバーカード交付数は、人口5235人中510人、率にして9.74%です。県内で一番高い交付率は東成瀬村で13.02%、次に秋田市10.83%、3番目は鹿角市で10.66%となっており、小坂町は6番目です。

活用方法として、スマホやパソコンからオンラインで各種行政手続きの申請ができます。現在町では、母子保健・児童手当・保育・児童扶養手当の4分野15種類において、利用可能となっています。

今後は、他市町村の動向を見ながら、町として、取り組み可能な分野のサービスから検討していきます。

働き世代の健康増進に意識付けを

町長 町民の健康促進事業を強化する

問 小坂町では、以前から地道に進めてきた、高齢者を対象にしたお元氣くらぶやお達者塾、スクエアステップなどの地域支援事業、また、町民全体の運動を促すためのスポーツ、パークゴルフ大会、チャレンジデーなど、健康増進の様々な活動を行っています。地域支援事業を継続しているお陰で以前よりも元氣になり、活動的に参加する方が増えています。

しかし、問題は中年層で、現在「ナトカリ比」などの健康教育を実施して指導していますが、栄養管理だけの健康維持は難しいと思います。運動することが重要で、メ



タバコや生活習慣病の予防、解消にもつながります。運動する良いきっかけがあれば、健康増進につながるものと考えますが、町で何か新しい取り組みを考えているか。

答 町では健康づくり人材「ヘルス・ハッピー・チャレンジヤー1000人育成」を宣言して、昨10月から月1回ペースで養成塾を開催しています。養成塾では、健康指導の他、腰痛・肩こり体操をはじめ多岐にわたる内容で、中年層でも参加できるように配慮して夜に開催した結果、参加者のほとんどが65歳未満の方で、仕事帰りに参加しています。

これまで5回開催して、46名の方が参加しました。3回の受講で「ヘルス・ハッピー・チャレンジヤー」として認定された方が現在18名います。自身の健康意識を高め、中高年の生活習慣の改善を推進するためにより多くの健康

意識の高い人材を育成し、「ヘルス・ハッピー・チャレンジヤー」の方々が家庭や職場、地域で自身の経験や健康づくりについて伝えることで、健康の輪が広がり、更に口コミによる情報拡散がなされ、健康無関心層に呼びかけるための有効な手段と考ます。

今後も「毎日10分程度の適度な運動の継続」「適切な食生活として1日70グラムの野菜」「禁煙」「定期的な健診で自分を知る」に重点を置き、保健分野や教育委員会体育分野、関係団体と、より一層連携を図りながら、町民の健康寿命延伸に向けた事業を強化していきます。



インターバル速歩講習会

介護を受ける町民、担う事業者へ 町独自の支援を

町長 関係者と今後の事業所のあり方を協議したい



鹿兒島 巖 議員

一般質問 町政を問う



介護予防は大切だが・・・

問 介護保険制度は、包括支援センターが核となって福祉関連事業者、町民との連携により他自治体の模範となる取り組みが進められていることを評価しているが、今後の町民の状況、国の施策の方向を考えると、新たな取り組みが求められると考える。

1、第7期介護保険計画1年目の事業の進捗状況は。

2、対象変更、報酬変更による事業所の経営への影響は。

3、今後は町独自に支援が必要と考えるか。

答 今年度の大きな取り組みは、短期集中型の介護予防サービスと特別養護老人ホームの増床です。いずれも実施から経過が浅い状況で評価はいささか困難ですが、一定の成果につながると考えます。

2点目は、事業者の経営環境がめまぐるしく変わる状況ですが、必要な介護サービスによる支援が提供されるよう

経営状況を注視していきたいと考えます。

問 福祉総合計画での高齢者数・要介護認定者数等の見込みでは、総人口の中での40歳から65歳まで、そして65歳以上の動向がいずれも減少傾向となっている。

要支援・要介護認定者は町の介護予防や総合事業が進むことによって、推計よりさらに少なくなると考える。そうであれば、事業所は介護報酬の減少へと誘導され、厳しい

経営状況を招くことになるかと危惧するが。

答 指摘のように将来を考えた場合、事業所のやりくりが大変になると考えられることから、先般町の社会福祉法人代表者の方々に集まっていた、今後の事業所のあり方、町全体の福祉のあり方について意見交換をしました。

引き続き31年度中に、たとえば事業所の統合などを含め、福祉法人の方々と、協議していきたいと考えます。

非正規・臨時職員等の処遇改善を

町長 平成32年度からの改善を目指したい

問 町の非正規職員・臨時職員等の処遇についてはこれまで改善を求め、一定の取り組みがなされてきたが、勤務実態、職務の内容からしてその処遇は十分とは言えないと考える。

非正規職員・臨時職員等の配置実態とその処遇はどのようになっているか。

また、勤務実態に合致した処遇改善を図るべきと考える

が。

答 平成30年度のフルタイムの非正規職員は42名、短時間勤務臨時職員は27名となっています。

地方公務員法・地方自治法

国が狙う市町村連携「圏域」構想、自立を選んだ町として対応を

町長 対応は慎重に考えていきたい



新たな交流拠点開設

の改正で、一般職の会計年度任用職員制度が創設され、任用、勤務規程等の整備とともに期末手当の支給が可能となりましたので、今年9月の議会に関係条例の上程を予定しており、平成32年4月からの運用を目指す方針です。

要望 実施時期の規定は目安であり、今すぐ実施しても法律違反ではない。できるだけ早期に実施すべきと考える。



佐藤 寿子さん
(若葉町)

町内で頑張っている皆さんを紹介するコーナーで、第3回は若葉町在住で小坂マリア園・園長の佐藤寿子さんです。元氣な子ども達の声が聞こえる小坂マリア園におじゃまして、インタビューしました。

町の良いところは何ですか

園児のお散歩コースの中で明治百年通りなどの観光名所がたくさんあり、町並みが、きれいなところ。地域の方々や国際交流員など、色々な国の方たちとの触れあいが、小さな子どもの頃から体験できるところ。

議会への要望はありますか

町に一つしかない保育園です。色々な問題があった時などに、良き相談役として、ご指導いただきたい。

町に対応してほしいこと

児童公園の遊具が少ないのもう少しほしい。
これからの保育について

共働き家庭への対応に重点を置いて、仕事と育児の両立が大変なご家庭の手助けとなるように、子ども優先での親の支援に努力していきたい。



平成30年4月に小坂マリア園・園長に就任して、二人のお子さんを持つ母親。地域の保護者の支えとして、30年間保育士として、子ども達の保育に力を注いできた。気さくで明るい園長さんは、地域に信頼され愛される保育園を目指して、今日も子どもたちの健やかな成長を見守っている。

人口減少により、子どもの数も減少していますが、小坂町は子育て支援が充実している。自然いっぱい恵まれた環境のもとで、子ども達が、伸び伸びと成長してくれと同時に、小坂町に若い方々が移り住んで、たくさん子ども達の声が聞こえてくることを心から願っています。
お忙しい中、快く取材にに応じていただき、ありがとうございました。

「検討します」等と答弁した事項の進捗状況を調査

町民に対する説明責任を十分に果たすことを目的に、町議会本会議等における一般質問などに対する町長等の答弁で、「検討します」と答弁した事項について進捗状況を調査し、結論が出るまで次の本会議で報告してもらうことで町側と確認しました。

今後は明確な答弁をいただき、町民要望に迅速に対応することを期待しています。



▶町長と教育長に進捗状況の調査を依頼

議員と語る会 開催のご案内

議員と語る会では、議会活動の説明のほか、参加者との「語り合い」を重視し、多くの参加者が発言できるようにしています。

まちづくりについて、多くの皆さんと語り合いたいと思いますので、お気軽にご参加ください。

なお、「議員と語る会」において、テーマにしたい内容などで事前にお聞かせ願えるものがありましたら、自治会長を通じて、議会事務局（TEL 29-3914）にお知らせください。

また、自治会や各団体との「語る会」にも可能な限り議員が出向きますので、事務局までご連絡ください。

対象地区	日 時	会 場
全 町	6月25(火) 午後6時30分	セパーム

編集後記

平成から新元号が「令和」に変わりましたが、皆さんはどんな風に感じられましたか？

自分も色々予想していましたが、「令」という字は予想していませんでした。令和の響きがなんとなくおしやれに感じますね。

町の31年度予算が決定しましたが、皆さんの評価はいかがでしょうか。

私たち議員は町民目線の予算になるように、また、町民ファーストの町づくりをしたと切に思っています。

広報委員会は議会活動を広く町民にPRして、わかりやすい議会だよりを制作するために日々試行錯誤しています。

最後に、令和の意味する「清らかで美しく丸くまとまる」そんな町を創っていくように努めてまいります。

(宮 信)

